

## 接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成23年3月31日

東京都港区芝5-1  
徳栄ビル本館  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 加藤 義雄



1. 接合金物名称	座金付きボルト(偏芯タイプ)M16W90×100
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
3. 目的	座金付きボルトの短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	座金部の木材に対する「めり込み量」およびボルトの「伸び量」を測定するための引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書※(平成21年4月1日制定)」による。 ※木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版:(財)日本住宅・木材技術センター発行)対応
5. 試験体仕様	<u>1) 接合金物</u> 「座金付きボルト(偏芯タイプ)M16W90×100」 材 質：座金部:SPHC (JIS G 3131*1) ボルト部:SR235 (JIS G 3112*2) 寸 法：座金部:90mm×100mm 厚さt=9.0mm 座金の中心から15mmの位置にボルトが取り付け ボルト部:φ16mm L=600mm(M16ねじり部L=100mm) 表面処理:Ep-Fe/Zn5/CM2 C (JIS H 8610*3及び8625*4)  「六角ナット M16」 材 質:SWRCH8R (JIS G 3507-2*5) 寸 法:M16 ナット高さ13mm 表面処理:Ep-Fe/Zn5/CM2 C (JIS H 8610*3及び8625*4) <u>2) 軸組材料</u> 横 架 材:105mm×150mm×600mm ベイマツ 含水率:13.5~15.0% 絶乾密度:0.53~0.61g/cm <sup>3</sup>  *1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *2 JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼 丸鋼 *3 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *4 JIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 *5 JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼-第2部:線
6. 試験条件等	試験体の固定:座金面のめり込みに先行して固定点のめり込みが先行しないよう、横架材上部を十分な加圧面積を持つ鋼板により固定した。固定は六角ボルトM16を用いて座金付きボルト軸芯より横架材両口側に150mmの位置で行った。 短期接合耐力は座金部に対する木材の「めり込み許容限界」を考慮して決定された数値である。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 42.8 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター:神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成23年2月18日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 千葉 博 木村 明博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。